

平成 29 年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|----------------------|----|-------|-----|------|----|------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史 B | 単位数 | 4 単位 | 年次 | 3 年次 |
| 使用教科書 | 新詳「世界史 B」 (帝国書院) | | | | | | |
| 副教材等 | 最新世界史図説タペストリー (帝国書院) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・グローバル化する現代に生きる人間として、世界の歴史を広く学び、国際理解を深める。
世界と自己との関わりを中心として、主体的に現代社会を考察させる。

2 学習の到達目標

- ・教科書・副教材を効率的に活用するとともに、あらゆる資料を活用し、生徒の興味・関心を高め、理解を深めるよう工夫する。特に、現在の生活と歴史的事柄、世界と日本との関連性について理解させることに力点を置く。2年生で学習した古代の中国・インド・オリエント・ギリシア・ローマ・イスラーム世界を下地に中世～近現代の世界史を学び、現代社会の課題について考えさせる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りたり図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評 価 方 法 | 学習プリントの作成 | 学習プリント 定期考査 | 図表の読み取り 年表の作成 地図の作成 | 定期考査 学数プリントの提出 |
| | 年表の整理 | 小テスト | 課題提出 | 課題発表 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|----------------|--|---------|---|---|---|--|----------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 結びつく世界と日本 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界の一体化 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された時代の諸地域の特質を見だし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>d: 大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。</p> | ワークシート |
| 2学期 | 十九世紀の世界の一体化と日本 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 18世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 18世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見だし、19世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 18世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 18世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を19世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート |

| | | | | | | | | |
|-----|----------------|--|---|---|---|---|--|----------------|
| | 二つの世界大戦 | <ul style="list-style-type: none"> ・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:19世紀末から20世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:20世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:20世紀という時代の特徴、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:20世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などに関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート |
| 3学期 | 第二次世界大戦後の世界と日本 | <ul style="list-style-type: none"> ・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている</p> <p>b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている